

合格体験記

氏名 K. E

【合格した自治体（校種・教科）】

大阪府・愛知県（中学校・国語）

①いつから勉強したか？また、どんな勉強から始めたか？

1月ごろから徐々にはじめました。自分の苦手な一般教養の過去問をとにかく解き、分からないところは参考書で勉強しました。

②あなたのオススメの教材とは！？

東京アカデミーの参考書、各自治体の過去問、スーパー過去問ゼミ（教育法規）

③とっておきの勉強法

時間で区切らずに、単元や内容ごとに休憩をとる。自分のペースを乱さないように心がける。

④1日に何時間勉強していたか？

0～8時間 仕事を始めたばかりのときは疲労に負けて勉強できないときもありましたが、毎日の勉強時間をメモして奮起していました。

⑤息抜きの方法は？くじけそうになったときは？

息抜きは友達と話す、おいしいものを食べる。くじけそうになったときは昔の志望動機などを見て初心にかえることや、なにより職場の大先輩の話を聞き志気を高めました。

⑥どの自治体を受けたか？

大阪府、愛知県、神奈川県（いずれも中学校・国語）

⑦⑥を踏まえて、それぞれの自治体の面接や筆記（専門含む）などをどのように対策していたか？

面接：ナビの面接練習などを通して自分の課題を見つけ対策をしました。愛知県は施策を調べ自分の志望動機にリンクする内容を調べ愛知県の志望動機を答えられるようにしました。

筆記：一般教養・教職教養は特に差はなく勉強しました。愛知県の専門は一次試験からあるため過去問を解き、傾向や文章題になれるようにしました。

時事：勉強の息抜きに教育時事などの新聞を切り抜いてスクラップすることや、ネットで教育時事や施策などを調べるなどしました。

⑧ゼミ（授業）や就活と教員採用試験の兼ね合いは？

卒業後なのでゼミはありませんでしたが、佛教大学での免許取得と小学校での週4日非常勤嘱託勤務があったので平日は勤務後、教採の勉強、土日は佛大のレポート作成や試験勉強をしました。

⑨バイトやボランティアはどうしていたか？

在学時は3回生の4月ごろまで中学校2校のスクールボランティアに1年間行きました。アルバイトは自分のスケジュール調整のしやすい派遣のイベントスタッフをしていました。

⑩大学生活中にやっておいた方がいいこと！

感受性のアンテナを張ること！

友達とたくさん繋がって、旅行に行くことや、社会経験（アルバイトなど）などを幅広く経験することだと思います。座学だけでなくこどもにとって魅力的な人間性を身につけるためになにごとも積極的に。

⑪ナビの良かった点は？

自分の弱さや良さを気付かせてくれる素敵な仲間と出会えたこと。

そして生涯教育について熱く語り合える仲間がいることです。

⑫あなたはどんな先生でありたいか？

こどもを想う優しさを貫く強さのある先生

⑬これから教員採用試験を受ける先生の卵たちへ！

これから面接練習や、筆記体策をする中で辛いことや自分を信じていることができないときがあると想います。でもその辛さや自信のなさを知っているあなただからこそ、同じように苦しむ子どもの気持ちを痛いほど分かる素晴らしい教員になれるはずですよ。そんなふうに少しでもプラス変換をしながら日々の努力を惜しまないでください。そしてどうしても不安に押しつぶされそうなときは周りの友達や仲間とたくさん話をしてください。三人寄れば文殊の知恵といいますが何か自分の中にも新しい学びが生まれると思います！！！！最後に自分の中でなにが大切か、しっかりとブレない軸を持ち自分の言葉で戦い抜いてください！！！！

いつかご一緒できることを心待ちにしながら、学校現場で待っていますね☆